

報告書

EAMSC Thailand

In Bangkok 2019 1/8 ~ 1/13



Asian
Medical
Students'
Association
JAPAN. Since 1986.

AMSA JAPAN

(0) 目次

(1)会議概要	P3
(2)スケジュール	P4
(3)プログラム別報告	P5
(4)感想	P11

(1) 会議概要

[会議名称] 32th East Asian Medical Students' Conference 2019 in
Bangkok, Thailand

[開催地] Thailand (Bangkok)

[開催期間] 2019年1月8日(火)～1月13日(日)

[テーマ] “Diabetes and Obesity : The Unrecognized Burden”

[参加者]

後藤郁子	島根大学医学部医学科 3年
城戸初音	熊本大学医学部医学科 3年
小太刀菜月	国際医療福祉大学薬学部薬学科 4年
青柳理沙	国際医療福祉大学薬学部薬学科 4年
樋口あかり	国際医療福祉大学薬学部薬学科 4年
加藤直人	自治医科大学医学部医学科 2年

(2) スケジュール

Time	Tue: 08/01	Wed: 09/01	Thu: 10/01	Fri: 11/01	Sat: 12/01	Sun: 13/01
07.00 - 08.00	Arrival	Breakfast	Breakfast	Breakfast	Breakfast	Breakfast
08.00 - 09.00		Transfer	Transfer	Transfer	Transfer	Departure
09.00 - 10.00		Opening Ceremony	Scientific Paper & Public Poster	White Paper & Scientific Poster	Community Service	
10.00 - 11.00		AMSA International Session				
11.00 - 12.00	Keynote Lecture	Lunch	Lunch	Closing Ceremony		
12.00 - 13.00	Registration					
13.00 - 14.00	Lunch	The Grand Palace	Panel Discussion	Lunch		
14.00 - 15.00	Academic Visits					
15.00 - 16.00	Ice - breaking	Transfer	Transfer	Cultural Workshop		
16.00 - 17.00					Transfer	
17.00 - 18.00	Welcoming Party	Treasure Hunt	Siam Niramit Cultural Show	GM Night	Cultural Night	
18.00 - 19.00						
19.00 - 20.00						
20.00 - 21.00	Transfer	Transfer	Transfer	Transfer	Farewell Party	
21.00 - 22.00						
22.00 - 23.00	Chapter Meeting	Chapter Meeting	Chapter Meeting	Chapter Meeting		
23.00 - 00.00						

(3) プログラム別報告

Day 1

【Ice Breaking】

グループごとに分かれて名前を覚えたり、ゲームを通して仲良くなりました！飛行機の関係で途中から参加する人、まだいない人もいましたが、この5日間を通してグループのメンバーのことをさらに知っていきたいと思います！

【Welcoming Party】

グループごとに座り、喋りながらビュッフェ形式のご飯を食べました。タイカレーやフルーツなどたくさんの種類の料理がありました。食べ終わると、タイの伝統的な踊りや、合唱などのパフォーマンスが行われました。プリクラのようなものでグループのメンバーと写真を撮ったり、たくさん喋ったりして楽しかったです！



Day 2

【Opening Ceremony】

2日目の最初のイベントとしてオープニングセレモニーを行いました。場所は Phramongkutklao college of medicine です。開催者のスピーチや今回のテーマである糖尿病と肥満についてのスピーチなどを聞きました。どんな一週間になるのかとても楽しみです。



【Key Note Lecture】

糖尿病についてこれまでより深く学べ、その中で問題点なども明確になりました。特にこれまで日本では生活習慣病として問題にされてきましたが、他国では寿命と確実に関連する病気として扱われており、自分の認識を改める部分もありました。動画を最初に見たことで話題に入りやすく、これまでよりよく聞いている人が多かったように思えました。AMSA にできることは何なのか、改めて考え直す良い契機になりました。また、WHO が行なっていることも聞けて、将来の為になったと思います。

また、次に行われた肥満についての講義では、見た目と反して脂肪が多い人や、体型によってわかる脂肪のつき方の違いなど、聞いていて興味深い話が多くありました。私は組織的なところでもものを見ることが多いので、マウスの組織の話も面白かったです。

【Hospital Visit】

病院見学は 3 つの病院の中から 1 つが班ごとに割り振られ、見学に行きました。私は Phiamongkutkiao 大学病院の病理学の教室に行きました。教室でおこなわれている内容は日本とほとんど変わりませんが、軍付属の病院であったため軍での感染症などの研究もされていました。また、病理診断も行われており、手法によっては当日中に結果が出るとの話もしていただきました。

血液に関する研究もされており、タイでの献血の話もありました。日本と同様血液検査の前にはその人の血液検査や最低限の血液の値、また感染症に関して検査を行うとのことでした。

【Royal Winter Festival】

このフェスティバルは1ヶ月間開催されます。会場は黄色の光で装飾されていて、とても綺麗でした。タイ料理の屋台が立ち並んでいました。グループで素晴らしい写真を撮ること、タイの伝統的な衣装を着た人と写真を撮ることなど、いくつかのミッションが与えられ、グループの仲を深めることができました。



Day 3

【Scientific Paper & Public Poster】

シンガポール、台湾、オーストラリア、タイ、香港、インド、インドネシア、モンゴルが Scientific Paper の発表を行いました。肥満・糖尿病の人はどれくらいいるのか、運動の大切さ、薬の種類による効果の違いなどを学びました。35 年前に比べ、糖尿病の患者が 4 倍に増加していることが衝撃的でした。

Public Poster は国によって雰囲気の違いが作られていました。いかに糖尿病が危険であるかが一目で分かるようなポスターもありました。

【Grand Palace】

王宮は白く高い塀に囲まれていましたが、中には外からは想像できないほど様々な建築物がありました。金や細かい鏡で装飾がほどこされておりきらびやかでした。本堂には日本の大きなお寺と同じように大丈夫様々な仏像があり、お賽銭をいれてお詣りすることができました。



入り口からすぐの回廊にはタイで有名な長い物語で王妃を誘拐した鬼にたいして王子や猿の化身が戦う様子の絵が書かれていました。初日の welcoming party で演じられた劇はその物語の一部です。写真の白く大きな猿の絵はタイの教科書の表紙でよく使われるのでみんな知っているとのことでした。

【Siam Niramit Cultural Show】

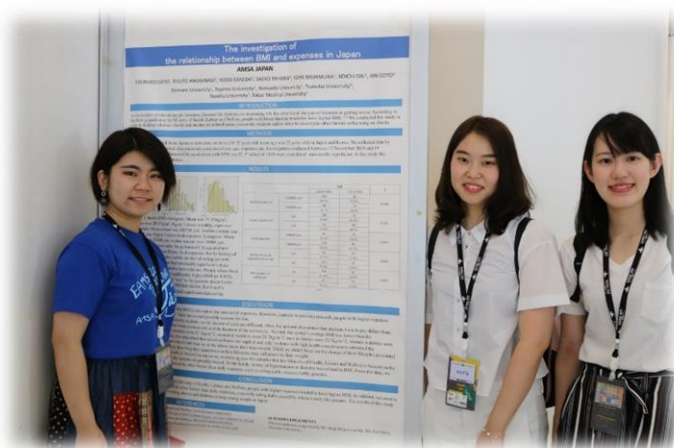
会場でビュッフェを食べたあと、タイの歴史や文化についてのショーを見ました。ショーでは象が登場したり、会場のなかに川が出現するなど、非常に凝っていて飽きずに楽しく見れました。ショーの前座では、参加者が輪に入って踊ることもあり、目も身体も楽しめたと思います！タイについて深く学ぶとても良い機会になりました。



Day 4

【White Paper & Scientific Poster】

White Paper では、各国が肥満や糖尿病に関する啓発ビデオを作成していました。どの国のビデオも学生が作ったものとは思えないほどレベルが高く、言葉が分からなくても視覚的に訴えるものになっていて、素晴らしいと思いました。また、Scientific Poster に関しては、AMSA Japan の Academic 部門が作成したポスターの発表も行いました。どの国のポスターも図や表がわかりやすい上に、発表も充実したもので、各国の糖尿病や肥満の現状についてよく知ることができました。



【Panel Discussion】

6名の professor と多数の delegate で糖尿病と肥満についてのディスカッションが行われました。professor がプレゼンテーションを行い、それに対し delegate が質問をしていきました。

議題は小児糖尿病の現状や原因、治療について、大人の糖尿病の治療や糖尿病と肥満の関係についてなどです。小児の糖尿病や糖尿病の治療について知らないことも多く、自分の勉強不足な点を感じました。特に薬物治療と外科的治療の効果の比較がとても興味深く、薬物治療の効果は大いに期待できるものであることがわかりました。

また、日本ではあまり問題視されていない小児の肥満が他国では死につながる病気としてとらえられている点についても驚きました。この機会からもっと小児の糖尿病や薬物治療について学びたいと思います。

【International booth】

様々な国がお菓子や独自の文化などを出し物として用意していました。

日本は浴衣を着て、書道とけん玉などの昔ながらの遊びをやりました。特に書道は人気が高く、いろいろな国の人の名前を漢字やカタカナで書いてプレゼントしました。どの国も個性あふれる出し物があり、お菓子を食べたり、グループメンバー以外の人と話したりできたので、とても楽しかったです。



【GM Night】

グループごとに別れて行動し、GMがもてなしてくれました。私のグループが行った Siam という地域は、大きなショッピングモールが駅の両側にありきらびやかで洗練された場所でした。タイ料理を食べ、その後ショッピングモールやふもとのナイトマーケットで GM におすすめを聞きながら買い物をし、最後にみんなでデザートを食べ、4日目までに仲の深まったメンバーで思い出を作りました。学校や病院がある地域とは違った雰囲気を感じとることができ、BTS(高架鉄道)やタクシーといった交通機関を使うことでもその国の文化を見ることができた。特に BTS のホームドア付近の電光広告でスマホの見すぎに注意を呼び掛けるものが多かったことが印象的でした。



Day 5

【Community Service】

まず、事前に班で作成したプレゼンを発表しました。多忙なプログラムの合間を縫って作られたプレゼンでしたが、とても完成度が高く、目を見張るものがありました。その後、各班ごとにインスリン注射のやり方を実際にやってみて学んだり、レクリエーションを行ったりしました。



【Cultural Workshop】

バナナの葉で箱を作ったり、様々なバナナのお菓子を食べたりしました。またタイの伝統的な衣装を着て写真を撮ったり、ムエタイを教わったり、タイの早口言葉に挑戦したりしました！タイの文化にたくさんふれることが出来ました。

【Cultural Night】

それぞれの国が伝統的な衣装を纏い、ダンスや歌を披露しました。見たことのない衣装やダンス、歌を見ることができ、とても興味深かったです。日本はソーラン節を披露しました。とても盛り上がったので、毎晩練習してよかったと思いました。パフォーマンスの合間にスカイラウンジへ行き、タイの夜景を満喫しました。

いろいろな国の文化を見たり、いろいろな国の人にソーラン節を楽しんでもらえたりしたのでよかったです。AMSAを通してさまざまな国の人たちが集まり、交流を持てることはとても素晴らしいことだと思いました。この貴重な経験を生かし、次に繋げていきたいです。



(4) 感想

今回の EAMSC は、私にとっては二度目の国際会議への参加でした。前回に比べると勝手も分かっており、また以前できた友人たちとの再会も楽しみに準備を進めておりました。

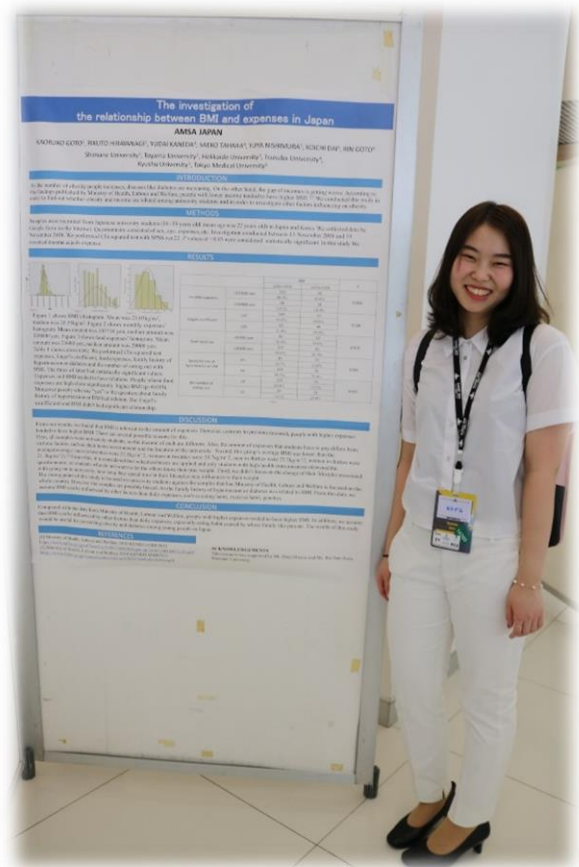
私にとってはやはり論文発表やポスター発表が最も心に残った行事でした。言葉にはしにくいものがありますが、今回の会議でも各国のレベルの高さを見せつけられ、これからの研究への思いをかき立てられました。自分にとって研究をするということは、まだ物事をより深く考えるということに留まっていますが、他国の参加者と話をしていると、研究するということについて自分がいかに浅くしか捉えられていないかということに気づかされます。より深くより広く見識を持っていきたいと改めて思いました。

AMSA に参加して良かったと思うことの一つに、たくさんのつながりを得られるということがあります。今回の会議においても、旧い親交は温め、また新しい親交を増やしてきました。現地で過ごした時間は一週間足らずですが毎日が本当に濃く、その日々を一緒に過ごすからこそ深い関係を築くことができるのではと思いました。

また様々な国の人々と色々と話をするうちに、自分の中にも変化があったように思います。日本に帰って大学の友人と話していると、所々で自分のものの見方が広がったなど感じる事が多々ありました。これからも俯瞰的に物事を見つめることを忘れずにやりたいことに向かって進んでいきたいと思えます。

後藤郁子

島根大学医学部医学科 3年



報告書-EAMSC2019 in Thailand

今回の EAMSC は私にとって 2 回目の国際会議への参加でした。前回 2 年生のときに行った EAMSC Nepal は日本人参加者 1 人で右も左もわからないままの参加でしたが、その時の楽しさが忘れられず、今回も参加を決めました。

しかも今回は Regional Chairperson として、日本人の delegate の代表となり、毎晩行われる RC ミーティングへも参加しました。EAMSC の思い出はたくさんありますが、私にとってこの RC ミーティングは自分が運営に少し関わっている、という感覚を持つことができ、とても印象深かったです。例えば、GM(group moderator)に何も言わずに班からはぐれてしまった人とはどのように連絡を取って合流すればいいか、文化の違いによって生じてしまう問題(イスラム教の人の朝のお祈りなど)に対してどのように対処すればいいか、などその日出した反省点、各国の delegates から出た意見、運営側の意向などをまとめつつ話し合うのは、とても刺激的でした。

他にもタイの病院見学では私はタイの軍事病院へ見学に行ったのですが、そこの大学に実際に通っているタイ人の医学生が、最近タイが軍事政権になったこと、医学の勉強以外に訓練も非常に大変であることなどを話してくれ、その国の政権や情勢によって、医療のあり方も変わってくるのだと痛感しました。

今回の EAMSC Thailand は前回の Nepal とはまた一味も二味も違う国際会議となりました。日本の医学生が参加するのは、大学のカリキュラム等の問題もあり、なかなか厳しい部分もありますが、昨年から開催している JaMSC などを通して、今回得た学びを還元していけたらいいなと思っています。

今回参加のために尽力してくれた AMSA Japan の役員の皆さん、そして EAMSC Thailand の Organizing Committee の皆さんにはこの場を借りて御礼申し上げます。

城戸初音

熊本大学医学部医学科 3 年



報告書-EAMSC2019 in Thailand

初めての国際会議参加で、初日は楽しみな気持ちと不安な気持ちでいっぱいでした。何より英語があまり話せないのに友達を作れるのかなどの不安がありました。どの国の参加者も優しく、楽しく話すことができましたが、同時に自分の英語力の低さを実感させられました。英語力を上達させ、もっと深く幅広い会話をしたいと思いました。

また、数多くの友人を作ることができたことがよかったです。今でも連絡を取り続けている大切な友人ができ、とても充実した一週間でした。たった6日間でしたが毎日濃厚なスケジュールが組まれていたため、グループのメンバーと親しくなれたと思います。反省点としては、今回の国際会議は受動的な参加しかできませんでした。もっと積極的に探究し、貴重な経験を活かしていきたいです。

不安も多くありましたが、日本ではできない経験ができ参加してよかったです。機会があればまた参加し、もっと多くの友人を作りたいです。



小太刀菜月

国際医療福祉大学薬学部4年

私は AMSA Japan の Conference 部門に所属しているので参加者の手助けはしたことがありましたが、国際会議に自分自身が参加するのは初めてでした。私は初日のアイスブレイクに参加できず、また英語が得意じゃないので馴染めるかとても不安でしたが、たくさんの人が優しく話かけてくれ嬉しかったです。日本のアニメや漫画を知っている人が多く、日本の影響力が自分の思っていたよりも遥かに大きかったです。日本に住んでいるとなかなか外国の人と話す機会がないので、様々な国の人と関わりを持つことができとても貴重な経験となりました。海外の大学では母国語ではなく英語のテキストで授業を受けると聞き驚きました。たくさんの人と話すことで今まで知らなかったことを知ることができ、視野を広げることができました。EAMSCで海外の友達がたくさんできたので、今回築いた関係を大切にしたいです。とても充実した1週間でした。



青柳理沙

国際医療福祉大学薬学部薬学科4年

報告書-EAMSC2019 in Thailand

一晩で、世界各国から集まった人々と友達になる、そんな経験をしたことはありますか。

国際会議では、将来を語り合えるような絆を築くことができます。会うのは初めてでも、どこか共通する部分を感じ、それぞれの信念をもって医療を学ぶ仲間たちが世界にいると実感できたことはとても感動的でした。

早朝から深夜まで1週間を共に過ごしたグループのメンバーは、私の発言に耳を傾け、伝わりやすい英語で話してくれて、絶対に会話で置いていくようなことはしませんでした。さらに、知っている日本語を使ったり、日本の好きなところや疑問に思うことなどを話してくれたりしました。こうして関わっていくなかで、これまでに私が思っていた以上のアジアにおける日本の影響力の大きさを知りました。

初めての EAMSC への参加では“Knowledge” “Action” “Friendship” という AMSA の 3 つの理念を存分に感じる事ができました。受け取るだけでなく発信もしていけるように、もっと英語力や医療に関する知識を身に付け、自分の考えを深めていきたいです。



樋口あかり

国際医療福祉大学薬学部薬学科 4 年

念願の EAMSC でした。大学の都合により、参加できたのは丸 1 日と少しではありましたが、たくさんの学びや友情に満ちた時間でした。

まず、AMSA 各国からの参加者との交流を介して、他の国では普段どんな活動がなされているのかを知ると同時に、日本と比較して非常に大きな規模で活発な活動がなされている国もあることに驚きました。今は、国によって状況は異なりますが、AMSA Japan の活動もこれから一層魅力的なものにしていきたいと思っています。

そして何より貴重だったのは、たくさんの素敵な参加者達との交流でした。一つのイベントで、多様な国の参加者と長い時間話し合い、つながりを得られるというのは国際会議にしかないメリットだと思います。生活をともにすることで、お互い素の人柄で語り合い、これからもずっと大切な仲間ができました。今後の AMSA での活動のモチベーションや、素敵なつながりを得られた貴重な体験でした。参加して本当に良かったと思っています。



加藤直人

自治医科大学医学部医学科 2 年

【編集】

鈴木 里美 千葉大学看護学部 3年

【発行】

2019年3月3日

